

## 「回復期リハビリテーションはなぜ大切なの？」

久野病院 整形外科回復期リハビリテーション病棟  
兼リハビリテーション担当医長

中路 教義先生

「回復期リハビリテーションはなぜ大切なの？」

久野病院  
整形外科回復期リハビリテーション病棟担当医長  
中路 教義 氏



か。Q 早期のリハビリは必要

A 以前は病気の治療が優先で、安静と体力回復の後、リハビリを行っていました。しかし、健康な人でも筋肉を使わないと1日で3割ほど減ると言われています。1週間ほどの寝たきりだと約2割減少、回復には1カ月程度かかり、関節の拘縮も意外に早く進行します。そのため、近年では治療後、早期にリハビリを始めるのが一般的です。

Q 回復期とは。

A 脳血管障害や骨折の手術、急性期の治療を受けて症状が安定し始めた、発症から1、2カ月の状態のことです。最近では、この時期に集中的

## 寝たきり防止へ早期開始

なりハビリを行うことが最も効果的であると考えられ、家庭復帰を目指し、寝たきり防止に努めます。医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、医療ソーシャルワーカー、栄養士、薬剤師などがそれぞれ連携して、各々に合ったプログラムを組み、集中的なりハビリを行います。

Q 対象となる疾患は。

A 回復期リハビリテーション病棟に入院対象となるのは、脳血管障害、骨折、靭帯損傷、廃用症候群などです。中でも回復が困難なのが廃用症候群で、筋力低下や関節拘縮などの運動器障害、静脈血栓症や肺炎などの循環器障害、自律神経障害、精神障害などがこれにあたります。病床での寝たきり状態が原因となります。回復期リハビリを行うことで、ADL(日常生活動作)の改善、自宅復帰率の増加、入院期間の短縮などに成果が見られています。